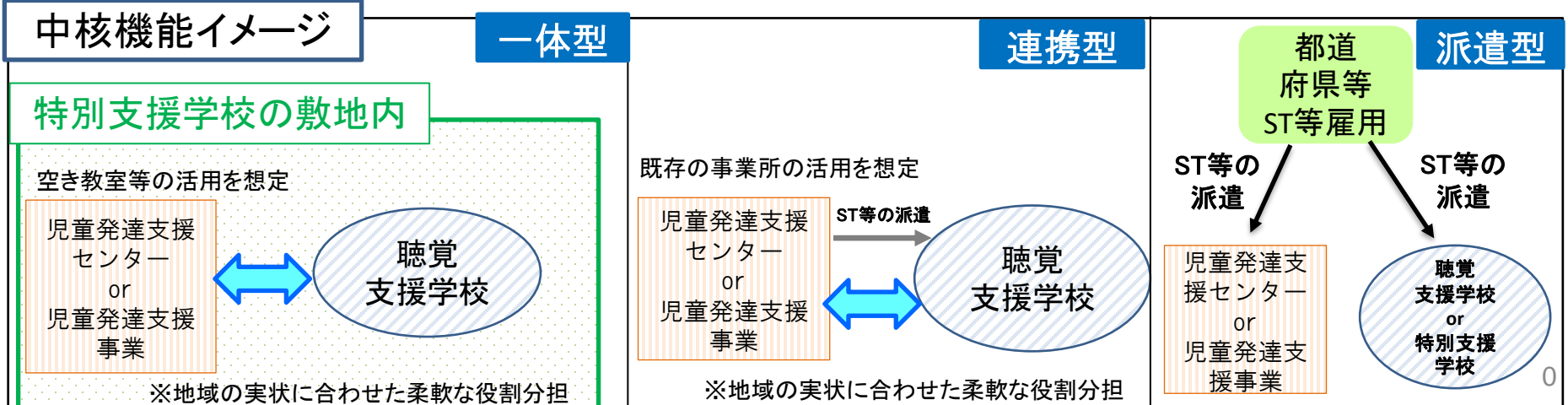
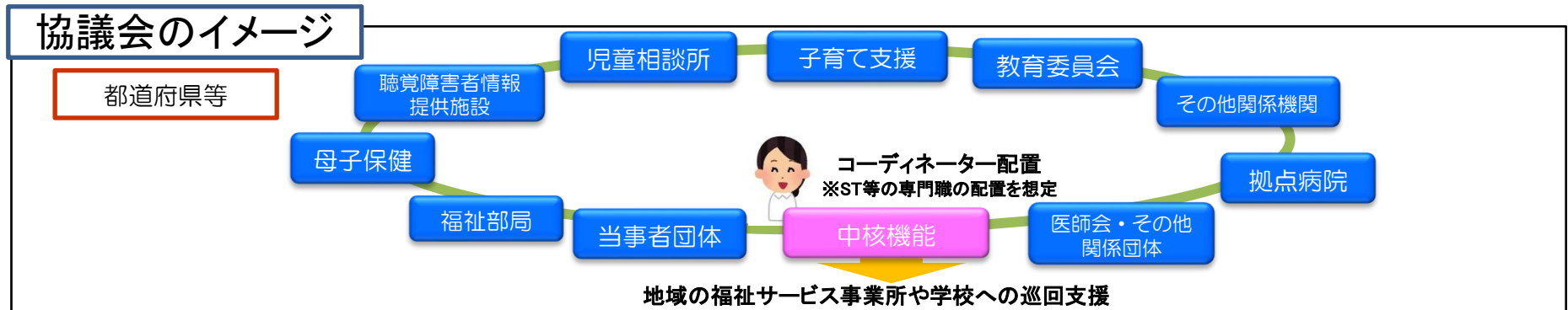


聴覚障害児支援中核機能モデル事業(イメージ)

令和3年度予算 1.7億円

目的	内容	実施主体
<p>聴覚障害児の支援は乳児からの適切な支援が必要であり、また状態像が多様になっているため、切れ目のない支援と多様な状態像への支援が求められる。</p> <p>このため、福祉部局と教育部局が連携を強化し、聴覚障害児支援の中核機能を整備し、聴覚障害児と保護者に対し適切な情報と支援を提供することを目的とする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 聴覚障害児に対応する協議会の設置 2. 聴覚障害児支援の関係機関との連携 3. 家族支援の実施 4. 巡回支援の実施 	<p>・都道府県 ・指定都市</p> <p>(委託可)</p> <p>※全国で14か所程度</p>



岩手県 聴覚障害児支援中核機能イメージ

事業目的

聴覚障害児の早期支援を図るため、保健・医療・福祉・教育が連携することにより、聴覚障害児支援の中核機能を整備し、切れ目のない適切な支援を行うことを目的とする。

内容

1. 聴覚障害児に対応する協議会の設置
2. 聴覚障害児支援の関係機関との連携
3. 家族支援の実施
4. 巡回支援の実施
5. 聴覚障害児の支援方法に係わる研修の実施

協議会の設置

【目的】

聴覚障がい児の早期支援を図り、保健・医療・福祉・教育について、切れ目のない適切な支援が行われるよう、各分野の関係機関・団体等による連携体制を構築する。

【委員構成】

- ・委員数は13名
- ・医療・保健・福祉・教育等の有識者および聴覚障がい児の保護者

【主な検討事項】

- ・新生児聴覚検査体制の整備について
- ・聴覚障害児支援における療育・教育体制の充実について

【手法】

既存の会議（岩手県新生児聴覚検査体制等に係る検討委員会※）改編により設置

（※岩手県新生児聴覚検査体制等に係る検討委員会）

- ・新生児聴覚検査体制の充実を図ることを目的に設置
- ・委員は岩手医大や県立病院等の医師

中核機能（派遣型）

医療・福祉・教育の連携

